



講師インタビュー：自分らしく生きられる社会を作る人

今日は、2025年2月12日15時より開催予定の『「違い」を楽しむ旅へ出発！～ゲームで体感する多様性と共生社会～ ワンダーワールドツアー研修体験セミナー』で講師を務める、ワンダーワールドツアー制作委員会代表であり、NPO 法人アクセプションズ理事でもある高橋真さんにお話をお伺いしましたので、そちらの記事を掲載させていただきます。

1. 現在のお仕事や活動について教えてくださいませんか？

高橋真さん：
現在私は会社員としても働いていますが、自分の会社も経営しています。加えて、大学で講師を務めることもありますし、NPO の理事としても活動しています。

ビジネス、学術、そして社会活動を通じて、誰もが生きやすい社会を作ることを目指して活動しています。

2. 今回開発したプログラムについて教えてくださいませんか？

高橋真さん：
プログラムのきっかけは、大学院で社会課題をゲームで解決するというコンペに参加することを決めたことです。座学や口頭で社会課題や多様性を学ぶのは難しい部分もありますが、ゲームを使うことで、体験しながら学び、気づきを得ることができると思いました。ゲームを使って強制社会について学ぶことができればと思い、制作を進めました。

3. このプログラムで解決したいことは何ですか？

高橋真さん：
知らない人々との交流には、どうしても緊張や怖さを感じる場合があります。しかし、実際に交流してみると、それは当たり前なことだと感じる人が多いです。ゲームを通じて、実際に体験しながら相手の立場に立ってみることで、知らない人やマイノリティの人々と気軽に接するきっかけを作りたいと思っています。このゲームは、実際に少数派の立場になり、その視点を体験することができるのが特徴です。

Next Seminar

1 MON
27

Jan,27,2025

女性のためのジェンダーバイアス
& 自信創出研修体験セミナー

本セミナーは、エンダー・バイアスとリーダーシップの関係性や女性自身が持つバイアスと「自信のなさ」を複数の視点から探求し、ネガティブなバイアスを乗り越え、自信を高めるためにできることを体感して頂きます。
詳細はこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public>



Feb,12,2025

「ワンダーワールドツアー」研修
体験セミナー

今回は、多様性理解を深め、チームワークを強化する体験型研修として、「ワンダーワールドツアー」は、多様な特徴を持った旅行者になりきり、疑似体験を通して共生社会について深く学べるゲームを使った研修の体験セミナーです。
詳細はこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public>



Feb,28,2025

ジョブクラフティング（自分活躍
推進）研修体験セミナー

自分の強みや価値観を再認識し、周囲の期待を理解することで、仕事にやりがいを見出し、モチベーションを高めることができるジョブクラフティング研修（自分活躍推進）体験セミナーです。

詳細はこちらです。
<https://entrelabo.co.jp/public>



私自身も、ゲームを体験する中で、色々と立場をゲームの中で疑似体験することで、それぞれがお互いに自然に助け合える場を創り出すことができるのが面白いと思いました。ダイバーシティとしての観点はもちろん、新入社員やチームでのコミュニケーションの活性化にもなると思いました。

4. このプログラムの特徴について教えてください。

高橋真さん：

このプログラムでは、D&I（多様性と包括性）や障害者差別解消法といったテーマに取り組んでいます。

ゲームを通じて体感し、その後で座学による講義を受けるといった流れで、理解度が深まること参加者から好評を得ています。

単なる座学ではなく、ゲームを使った体験がこのプログラムの特徴です。

5. ゲームの内容について、もう少し詳しく教えていただけますか。

高橋真さん：

ゲーム自体は非常にシンプルで、旅行をテーマにしたカード集めのゲームです。

例えば、参加者は「音で世界を知る旅行者」などの役になりきり、その体験を通じて、障害や多様性について考えることができます。

ゲームの中で、旅行者の視点で行動することで、マイノリティの立場を疑似体験することができます。

加えて、思い出カードがあり、ゲーム中に緊急避難やパレードの参加といったイベントが発生し、参加者がどのように反応するかを体験します。

これにより、実際に体験した感情や思考を通じて学びます。

6. このゲームを通じて、どのような社会づくりのきっかけを作りたいと考えていますか？

高橋真さん：

ゲームを通じて、多様な人々との接点を作り、誰もが自分らしく生きられる社会のきっかけを作りたいと考えています。

実際に体験することで、言葉や座学だけでは理解できなかったことを深く感じることができると思います。

7. 最後に、このプログラムを通じて伝えたいメッセージは何ですか？購読者へのメッセージをお願い致します。

高橋真さん：

私は自分の娘が障害を持っていることから、誰もが生きやすい社会を作りたいと思っています。

このゲームを通じて、他者との違いを理解し、受け入れることで、もっと柔軟に、そして思いやりのある社会が作れると信じています。

ぜひ一度、この体験を試してみてください。

詳細は以下にございます。

<https://entrelabo.co.jp/public>

今回のインタビュー動画やゲームについての説明動画もございますので、ぜひご覧いただければと思います。

インタビュー動画

<https://youtu.be/nNegbOiAkPo>

ゲーム説明動画

<https://youtu.be/nuMGJa3rd3s>

ぜひ皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

元々高橋さんとの出会いは、ある講師にダイバーシティを体験できるゲームを知りませんか？との一言から始まりました。

それでゲームのタイトルを教えてもらい、直接連絡したのがきっかけです。その講師と、高橋さんは特に接点もなく、たまたま面白そうなゲームとして記憶にあったというものです。出会いは面白い。

研修受講報告



ダジャレコミュニケーション研修

本日、とある企業様にて「ダジャレコミュニケーション研修」を実施しました。

今回は、一般社団法人日本だじゃれ活用協会の代表理事である鈴木英智佳さんをお招きし、コミュニケーションツールとしてのダジャレに焦点を当て、職場における円滑な人間関係やチーム作り役立つスキルを習得することを目的に、実践的なプログラムを展開しました。ダジャレ力を測定するテストを実施したり、職場におけるダジャレの有効性についてディスカッションを行ったり、会議やプレゼンテーション、人間関係における活用事例を共有しました。た。フラットな関係性の構築など、円滑なチームワークに役立つ要素を探求し、新たな視点を得ることにつながりました。

ダジャレ PK 合戦」で対戦形式の発表を行ったり、チーム戦での即興寸劇を披露したりと、ユーモアを交えたやりとりが続き、場が大いに盛り上がりました。参加者同士が笑顔で交流する姿が印象的でした。